

# Journal of Fiber Science and Technology (JFST)

## 投稿規定 (2016年1月)

一般社団法人 繊維学会

### 1. 投稿論文

*Journal of Fiber Science and Technology* (以下 *JFST* と略す) へ投稿する際は, その内容は著作権に保護されていない, 出版や投稿のされていないものとし, 著作権が保護されている内容については, 予め掲載の許諾を受けることが必要である. ただし, 研究速報等として発表されたものに関してはこの限りではない.

### 2. 著作権

原稿が受理された場合は繊維学会へ著作権を譲渡するものとする.

#### 2.1. 著作権使用許可

掲載された論文の図, 表, スキームなどを使用する場合は予め事務局に申請し許可を得るものとする.

### 3. 原稿の作成

*JFST* では科学的で, 独創性のある重要で新規な内容の論文を求める. *JFST* に掲載される論文の種別は, 一般論文, 技術論文, ノート, 研究速報およびレビュー論文であり, いずれも査読論文である.

#### 3.1 一般論文

3.1.1 一般論文には, 繊維および繊維に関連する分野の未発表の研究内容を含むものとする.

3.1.2 一般論文には, 目的, 主要な結果, 結論を含む 300 語以内の英文要旨をつける.

#### 3.2 技術論文

3.2.1 技術論文は, 繊維およびこれに関連する工業技術的なデータ, 考案あるいは改良などを内容とし, 新規性の認められる未発表のものとする.

3.2.2 技術論文には, 目的, 主要な結果, 結論を含む 300 語以内の英文要旨をつける.

### 3.3 ノート

3.3.1 断片的な研究でも、新しい事実あるいは価値あるデータなどはノートとして掲載できる。ノートは、複数の関連する研究の逐次的な進捗や結果を公開するためには使用できない。長さは4ページ以内とする。

3.3.2 ノートには、目的、主要な結果、結論を含む150語以内の英文要旨をつける。

3.3.3 本誌に掲載された論文についてのコメント、質問および著者の回答などはノートとして掲載できる。この場合は1ページ以内とし、要旨はつけない。

### 3.4 研究速報

3.4.1 研究速報は緊急性が高く、広範に速報する価値があるものとし、長さは4ページ以内とする。研究速報には150語以内の英文要旨をつける。

速報として発表後に、大幅な追加データや分析を含むより包括的な研究成果を、一般論文等として発表することが出来る。

### 3.5 レビュー論文

3.5.1. レビュー論文は複数の原著論文を関連づけ、一連の研究成果としてまとめて執筆したものである。レビュー論文には、その内容が理解できる300語以内の英文要旨を付ける。

## 4. 原稿の審査

4.1 論文の最終的な採否は編集委員会が決定する。

### 4.2 原稿の訂正

受理された原稿は、編集委員が訂正を要求した箇所以外は、編集委員の承諾なしに変更してはならない。

### 4.3 原稿の再提出

編集委員から訂正を求められて返送された原稿は、審査意見に従って適切に修正し1カ月以内に再提出するものとする。その際、審査意見に対して取った措置や著者の意見などを箇条書きにして添付する。1カ月以上経過して再提出された場合は、原則として新規投稿として取り扱う。

## **5. 論文種別の変更**

編集委員会は、論文の内容を検討した上で、より適切であると考えられる論文種別（一般論文、技術論文などの種別）へ変更することが出来る。

## **6. 校正**

校正用の PDF 原稿は、著者に電子メールで送信され、校正は受信後 48 時間以内に完了し編集事務局に返信しなければならない。最終の原稿確認は著者の責任で行われるものであり、特に表や本文の数値は入念に確認すること。この段階での修正は軽微なものに限り、大きな修正は認められない。すべての修正箇所は同時に送信すること。

## **7. 掲載料**

著者は受理された論文の掲載にあたり掲載料を支払う。掲載料は別に定める。

## **8. 投稿手続き**

原稿は web 投稿査読システムを使用して受け付ける。本誌への投稿は全てオンライン上で行われ、投稿者は原稿ファイルおよび必要事項をシステムの指示に従って送信する。